

上原 彩子

Ayako Uehara (Piano)

上原彩子オフィシャル・ホームページ：<https://www.japanarts.co.jp/artist/AyakoUEHARA>

(プロフィールにはホームページアドレスを記載していただきますよう、お願い申し上げます。)

3歳児のコースからヤマハ音楽教室に、1990年よりヤマハマスタークラスに在籍。ヴェラ・ゴルノスタエヴァ、江口文子、浦壁信二の各氏に師事。第3回エトリンゲン国際青少年ピアノコンクールA部門第1位を始め多くのコンクールで入賞を果たす。2000年3月、第5回浜松国際ピアノアカデミーに参加、ピアノアカデミーコンクールでは、アカデミー史上、初のグランプリを受賞。同年7月、シドニー国際ピアノコンクールにて第2位及びピープルズ・チョイス賞、オーストラリア人作品賞、室内楽賞、ショパン賞等各賞を受賞。2002年6月には、第12回チャイコフスキー国際コンクール ピアノ部門において、女性としてまた、日本人として史上初めての第一位を獲得。

第18回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞受賞。

これまでに国内外にて演奏活動を行い、2004年12月にはデュトワ指揮NHK交響楽団と共演し、2004年度ベスト・ソリストに選ばれた。CDは日本人ピアニストとして初めて、EMIクラシックスと契約し、チャイコフスキーの作品を収めた「グランド・ソナタ」、フリーベック・デ・ブルゴス指揮のロンドン交響楽団との共演によるチャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番及びプロコフィエフのソナタ7番等を収めた「プロコフィエフ作品集」がワールドワイドで発売された他、2014年にはキングレコードに移籍、「上原彩子のくるみ割り人形」「ラフマニノフ 13の前奏曲」がリリースされている。

2006年1月10日には「日本におけるロシア文化フェスティバル2006」オープニング・ガラコンサートでゲルギエフ指揮マリンスキー管弦楽団と2007年1月にはベルリン・フィル八重奏団と共演、また、2008年9-10月にはクリスチャン・ヤルヴィ指揮ウィントーン・キュンストラ管弦楽団とのオーストリア及び日本ツアーを行ない、2017年3月には、ベルリン及び日本国内4都市において、エリアフ・インバル指揮ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団と共演、高い評価を受けた。

東京藝術大学音楽学部 早期教育リサーチセンター准教授。

オフィシャル・ホームページ：<https://www.japanarts.co.jp/artist/AyakoUEHARA>

(2019年4月現在 844字)

*プロフィールの一部を使用する場合、日数が経過している場合は、ジャパン・アーツの校正チェックをお受け頂きますようお願い申し上げます。

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092

上原 彩子 Ayako Uehara (Piano)

3歳児のコースからヤマハ音楽教室に、1990年よりヤマハマスタークラスに在籍。ヴェラ・ゴルノスタエヴァ、江口文子、浦壁信二各氏に師事。第3回エトリンゲン国際青少年ピアノコンクールA部門第1位を始め多くのコンクールで入賞を果たす。2002年6月には、第12回チャイコフスキー国際コンクール ピアノ部門において、女性としてまた、日本人として史上初めての第一位を獲得。

第18回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞受賞。

これまでに国内外にて演奏活動を行い、2004年12月にはデュトワ指揮NHK交響楽団と共演し、2004年度ベスト・ソリストに選ばれた。CDはEMIクラシックスから3枚がワールドワイドで発売された他、2014年にはキングレコードに移籍し、「上原彩子のくるみ割り人形」「ラフマニノフ 13の前奏曲」がリリースされている。

2006年1月10日には「日本におけるロシア文化フェスティバル2006」オープニング・ガラコンサートでゲルギエフ指揮マリンスキー管弦楽団と共演、また、2008年9-10月にはクリスチャン・ヤルヴィ指揮ウィントーンキュンストラ管弦楽団とのオーストリア及び日本ツアーを行ない、2017年3月には、ベルリン及び日本国内4都市において、エリアフ・インバル指揮ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団と共演、高い評価を受けた。

東京藝術大学音楽学部 早期教育リサーチセンター准教授。

オフィシャル・ホームページ：<https://www.japanarts.co.jp/artist/AyakoUEHARA>

(2019年4月現在 575字)

上原 彩子 Ayako Uehara (Piano)

第12回チャイコフスキー国際コンクール ピアノ部門において、女性としてまた、日本人として史上初めての第一位を獲得。

第18回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞受賞。

これまでに国内外での演奏活動を行ない、ヤノフスキ、ノセダ、ルイジ、ラザレフ、ブラビンス、ペトレンコ、小澤征爾、小林研一郎、飯森範親、各氏等の指揮のもと、国内外のオーケストラのソリストとしての共演も多い。

2004年12月にはデュトワ指揮NHK交響楽団と共演し、2004年度ベスト・ソリストに選ばれた。CDはEMIクラシックスから3枚がワールドワイドで発売された他、2014年にはキングレコードに移籍し、「上原彩子のくるみ割り人形」「ラフマニノフ 13の前奏曲」がリリースされている。

東京藝術大学音楽学部 早期教育リサーチセンター准教授。

オフィシャル・ホームページ：<https://www.japanarts.co.jp/artist/AyakoUEHARA>

(2019年4月現在 347字)

*プロフィールの一部を使用する場合、日数が経過している場合は、ジャパン・アーツの校正チェックをお受け頂きますようお願い申し上げます。

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092

Ayako Uehara (Piano)

Ayako Uehara became the focus of international attention after winning the first prize in the 12th International Tchaikovsky Competition in Moscow, 2002.

Ayako made her debut with the London Symphony Orchestra in the 2005/06 season with Rafael Fruhbeck de Burgos, and returned to work with the orchestra in the next season. She also made her debut with the BBC Philharmonic Orchestra/Nosedá in the UK and on tour in Japan, and returned to the London Symphony Orchestra in February 2008 with Vassily Petrenko.

Other recent performances with orchestras include engagements with the Vienna Symphony Orchestra with Fabio Luisi, Dresden Philharmonic with Simone Young, Russian National Orchestra with Mikhail Pletnev, Toscanini Philharmonic with Lorin Maazel, a tour of Japan with the Berlin Radio Orchestra and Marek Janowski, and the New Japan Philharmonic with Seiji Ozawa. In May 2010, Ayako Uehara toured with the State Symphony Orchestra “Novaya Rossiya” led by Yuri Bashmet in Japan, performing Tchaikovsky’s piano concerto No. 1, winning critical acclaim. In March 2017, she performed with Konzerthaus Orchester Berlin and Eliafu Inbal in Berlin as well as four cities in Japan, earning high praise.

In recital, Ayako Uehara tours Japan each season. In 2003 she made her London debut at Wigmore Hall and returned there in 2005. Other recitals include debuts in Italy, in Varese and Cervara, for the Fondo per l’Ambiente Italiano; at the Ruhrgebiet Piano Festival (2003), the International Chopin Festival, Poland (2002 and 2005), the Dubrovnik Festival, Croatia (2003). In 2007/08 Ayako made her recital debuts in Copenhagen and at the Tonhalle, Zurich. And in August 2010 she participated in the 65th International Chopin Piano Festival in Duszyniki, Poland.

Ayako has released three CDs on EMI Classics. In 2014 she moved to King Records and released “The Nutcracker,” which includes her own arrangements and “Rachmaninoff 13 Preludes Op.32”.

(April 2019)

2019/20 season only. Please contact Japan Arts if you wish to edit this biography.